

現場練混ぜ用 超速硬コンクリート

パワージョイント 24N

【 施 工 要 領 書 】

令和4年6月1日



二瀬窯業株式会社

特 長

1. 施工現場の最適なタイミングで、超速硬コンクリートを施工できます。
2. 現場の状況に合わせて必要な量を混練り打設でき、材料・時間ロスが減ります。
3. パワージョイント 24N の作業時間(現場練り～硬化までの時間)は、付属するパワージョイントセッターの添加量で調整できます。
4. パワージョイント 24N は、3 時間で 24 N/mm²以上の圧縮強度を発現し、長期的にも安定した強度増進が期待できます。

用 途 ・ 性 状

1. 荷 姿

- ・パワージョイント 24N： 20 kg/袋 紙袋
- ・砂 利 パ ッ ク： 15 kg/袋 ポリ袋
- ・パワージョイントセッター： 6 g/袋 ポリ袋

2. 用 途

緊急工事、橋梁の伸縮装置の取替え工事、コンクリート欠損断面修復、コンクリート床板補修、間詰め・埋戻し時のコンクリート工事

3. 練り混ぜ水量

水道水 2.6～3.0 kg/袋

4. 練上がり量

約 15.8ℓ (1セットあたり)

1 m³=約 64セット

1. 下地処理

- ① コンクリート表面にレイタンス、汚れ、油分などがあれば全て取り除き、水洗い・清掃等を行ってください。
- ② パワージョイント 24N の接地面には水打ちを行い湿潤状態とし、余分な水分は除去してください。

2. 材料の混練

- ① 練り混ぜ水量は 2.6～3.0kg/セットです。
※パワージョイントセッターを使用する場合、練り水にあらかじめ溶かしてご使用ください。
- ② ミキサーにパワージョイント 24N を投入し、攪拌しながら練り水を投入してください。
- ③ 練り水投入後 2 分間練り混ぜ、練りむらのないモルタルにしてください。
※底や隅等、練り残しがないように途中で練り返しながら攪拌してください。
- ④ モルタル攪拌後、砂利パックを投入し、均等に混ぜるまで 1 分間練り混ぜてください。

3. 打設・充填

- ① 練り上がったパワージョイント 24N は、バイブレーターを用いて十分に充填してください。
- ② 充填完了後、被膜養生材を塗布し仕上げてください。

4. 養生

- ① 通風や直射日光は避け、シートがけ等の養生を行って、急激な乾燥を防止してください。
- ② 施工後、降雨・降雪のおそれがある時はシート掛けなどの養生などを行ってください。

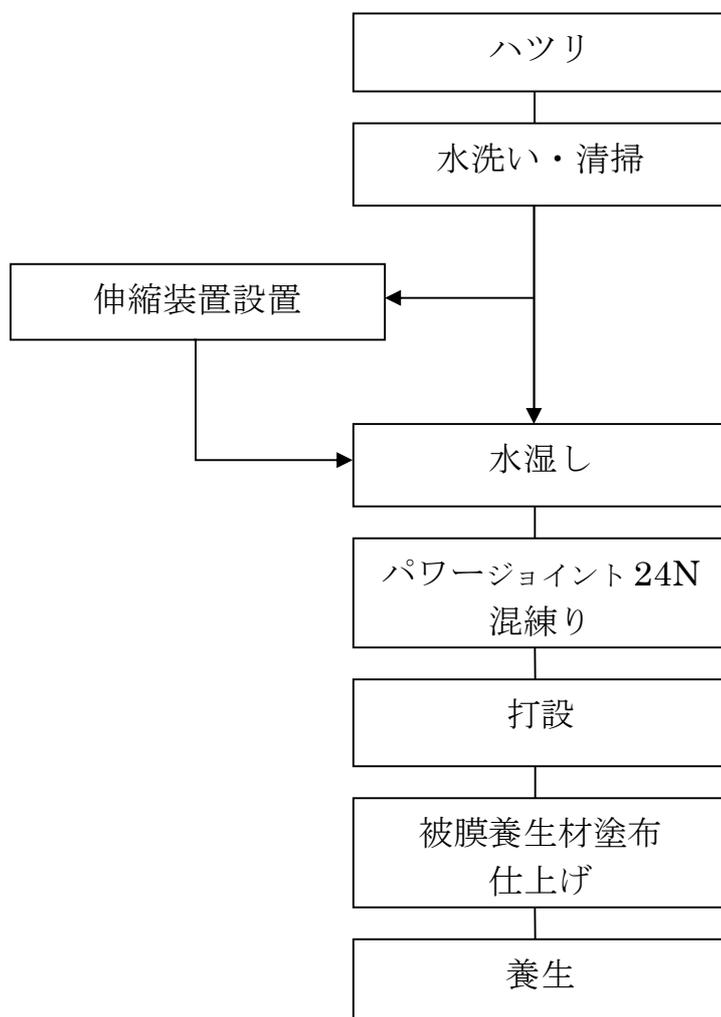
冬場対策

- ・ 冬場での強度管理用の試験体は、養生箱を用い養生を行ってください。
- ※ 放熱により強度発現が遅れ、施工した構造物との強度差が大きく生じる原因となります。
- ・ 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法で溶かし、打ち継ぎを行ってください。
- ・ 練り水に温水を用いて練り上がり温度が低くならないようにしてください。
- ・ 打設箇所の温度を急激に低下させないような対策を行ってください。
- ・ 打設後、加温養生を行い、モルタル・コンクリートの温度が下がらないようにしてください。

夏場対策

- ・ 材料は直射日光を避け、保管してください。
- ・ 練り上がり温度が概ね 30℃ 以下になる様、練り水に冷水を用いてください。
- ・ 打設後は、直射日光、風等による乾燥を避けるため、施工後直ぐにシート掛けなど十分な養生をしてください。また、打設箇所の温度を急激に上昇させないような対策を行ってください。

施工のフローチャート



注 意 事 項

- ※ 打設後の被膜養生材、ひび割れ予防用繊維等は現在ご使用の材料を施工使用に従ってご使用ください
1. 気温が5℃以下3.5℃以上及び5℃以下3.5℃以上になると予想される場合は使用しないでください。
 2. 材料の保管は、パレット等を利用し、地面（床）から離して室内など湿気・通風を避ける場所にしてください。
 3. 固まったものの使用は避けてください。
 4. 材料には練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
 5. 本製品の品質保持期限は、製造後約4ヶ月です。